

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	揖保郡太子町立 斑鳩小学校 職・氏名 教諭 前田 健佑	研究チーム名 ( 子どもの自己形成を考える会 )
-----------------	--------------------------------	-----------------------------

研究テーマ分類番号 ( 19 )

(1)研究テーマ
個が育つ学習形態の構築
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>5月 昨年度の取組をもとにして、 今年度の研究テーマ・研究方針・研究仮説の設定・年間指導計画を作成した。</p> <p>6月 一斉授業を通して、児童に基本的授業スタイルの基礎をつくった。</p> <p>7月 研修会に参加した(明石市教育研究所主催の研修会) " (兵小研学級経営部会夏季研修会) 1学期の活動をふりかえり、2学期に実践可能な学習様式を考えた。</p> <p>9月 問題解決的な授業実践を開始した。</p> <p>今年度は、研究テーマの中でも特に児童一人一人の思考力を育むための学習形態を構築することを目的に取り組んでいる。そのために、9月には社会科の自動車工場を扱うところで問題解決単元を設定した。</p> <p>今回は、事前に知識・技能をまったく与えることなく課題を提示し、その課題に対して一人一人の児童が、それぞれのアプローチの仕方で行っていくスタイルをとらせた。そして、児童が与えられた課題を解決していく上で、必要となってくる知識や技能を教科書、資料集、地図帳からその都度調べ、その調べた内容や技能を自分なりにつなぎ合わせていくことで、知識と知識に関連性を持たせ、さらにそこから自分なりの判断で問題解決に取り組んでいける思考力を養うことができたとみている。</p> <p>また、普段の授業では、与えた課題に対して自分なりの思いや考えを生み出していけるように工夫を施している。課題に対してじっくりと教科書をもとに考え、それをノートにまとめていく作業がそのひとつである。頭の中だけでは考えをまとめられない児童も多いので、ノートを使い、頭の中の考えをアウトプットさせる。そして、そのノートをもとにクラスの中で意見交流をおこない、意見交流しながらノート上に書かれた自分の考えを他者と比較し、関連性を見出すことによって、自分の考えをよりよいものへ練り上げていける力をつける取組である。</p> <p>今後も継続して、これらの授業スタイルを継続し、子どもたちのさらなる変化をめざしていきたい。</p>